





答

したい 一 化実現に向け決断

問

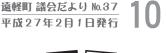
が最後か間化は今回の措置

		問 町は将来計画として、	あるものと判断しますが、	②機関車を利用した有料
	が可能か検討します。		ら、強風など多々問題の	スキャビン」の整備を。
	に36ホールのコース整備	いきたい	山に囲まれた立地条件か	を利用した「ツリーハウ
	1、2番及び9番ホール	答 が可能か検討して	①ツリーハウスの設置は、	①キャンプ場にある立木
民間移行を実現させます。	あった旧ゴルフ場敷地の	ホ       ル	の方策に努めます。	点について伺います。
した。明年の増資実施で	ています。ただ、要望の	ルフ場の整備を	度、認知度を高めるため	法の一つと考え、次の2
営安定までいきませんで	上の改善も難しいと考え	ー場にパーク	後も、丸瀬布地域の知名	ンターに降りてもらう方
改修、整備等の実施で経	は耳にしており、これ以	ロックバレース	加を図ってきました。今	び込むことが、丸瀬布イ
を求めましたが、設備の	クゴルフ場の状態の悪さ		実施し、入り込み客の増	らなる投資で観光客を呼
出で経営の改善と安定化	町長現在の河川敷パー	費用等調査します。	てイベントや広報活動を	設とされていますが、さ
町長 4年間の補助金支		は、設計、製造の不可、	め、観光協会等と連携し	行」で全道的に有名な施
	加に努めてはどうですか。	造による運転体験の実現	を最小限に食い止めるた	ャンプ場」と「雨宮号運
断してよいでしょうか。	整備して、流入人口の増	せん。新たな機関車の新	り、丸瀬布地域への影響	いこいの森公園は「キ
し、民間移行の実現と判	夏場はパークゴルフ場を	世に残さなければなりま	ター完成が予定されてお	になっています。
ます。この増資を最後と	ために、冬はスキー場、	財産であることから、後	成28年度に瀬戸瀬イン	整備するかが大きな課題
資要請があると聞いてい	より有利な形で運営する	いては、雨宮号が貴重な	町長高規格道路は、平	らえるインター」にどう
たが、新たな資本金の増	したが、遠軽インターを	②機関車の運転体験につ		過点から「立ち寄っても
化実現を想定していまし	整備することを発表しま	調査と研究を行います。	呼び込み実績を。	り、丸瀬布インターを通
年間の補助金支出で民間	インターに「道の駅」を	る課題でもあることから、	の採用で、鉄道ファンの	インター完成が目前に迫
成22年度から25年度の4	スキー場ロッジを兼ねて	インパクトや話題性のあ	による「民間人機関士」	問。高規格道路の瀬戸瀬
見直し方針」を受け、平				
問 町の「第3セクター				



町









いる状況です。	況図の作成作業を進めて	の現況測量が終わり、現	③現在は、業務委託業者	す。	て審議することになりま	今後は都市計画審議会に	レクゾーンの検討をし、	区についてもスポーツ・	し作業を進めて、福路地
---------	-------------	-------------	-------------	----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

費用

対 施

T, 町

計



ます。

高齢者が外出しや

バス助成券を交付してい 対象者1人に年間72枚の 乗車1回につき100円 齢者バス乗車助成事業と 業の一つです。また、高 って大変喜ばれている事 この事業は地域住民にと と福祉の向上が図られ、 ことにより生活圏の拡大

して70歳以上の方々に、

防と自立できる地域づく

Ŋ

先般、

バス乗降調査

ます。

ん電気料暖房料等かなり

すい環境を作り、

介護予



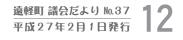
健康管理にも問題が生じ 務せざるを得ない場合、

の額になると思われます。 長期にわたり時間外勤



各泉	バスアンケート	に周査等を参	るものと思われます。	
· 火		יייאר איז יוויא דיאן מווו	毎年職員の新規採用を	
考にする	する		行っていますが、これら	
			の職員を1年間は多忙な	
			課の職務に従事させるよ	
りに役立っていると思い	を実施し、アンケート調	新規採用職員を1	うにできませんか。次年	
ますが、対象者が増えて	査も併せて実施しました。	問年間は多忙な課に	度、勤務状況により適正	
いるのに利用者が少なく	今後ますます増加する高	従事を	配置ができると思います。	
予算も減少しています。	齢者の方々の交通手段の	公務員の基本を身		
バス便数の見直し等要望	確保については、「路線	答 につけるいとまが	町長「時間外勤務に係	
も出ていますが、地域に	バスアンケート調査」等	10 × 10 10	る経費」は、平成25年度	
よっては路線から遠いと	も参考にしながら路線の		実績で時間外勤務手当は	
ころもあり、すぐに路線	ない地区も考慮した検討	<b>問</b> 町の職員は、地方公	給料総額の3・47%と	
や便数の見直しは難しい	が必要だと考えています。	務員として基本的権利は	なっております。電気料	
と思われます。		尊重されなければなりま	や暖房料は分けて算出す	
バス乗車助成券を、町	再問 路線まで遠い、ま	せん。また、町民に奉仕	ることが不可能であるた	
内全域を対象としてハイ	たは利用しづらい等の話	する立場にあるものとし	め、節電に努めています。	
ヤーにも利用できるよう	がある中で、現況の見直	て、町民の便益確保のた	次に職員の配置ですが、	
要綱の見直しを図り、実	しはできないか。	めに努力を求められます。	公務員のあるべき基本を	
施していただきたい。		職員の労働条件につい	身につけるいとまがなく	
	町長高齢化が進み、足	て、本所、支所含め毎日	なることが危惧されます。	
町長町内のバス路線は、	の確保ということから、	時間外勤務をしている状		
民間事業者及び町営によ	新年度予算の中でよい回	況ではないでしょうか。		
り9路線が運行されてお	答ができれば出していき	時間外勤務手当はもちろ		







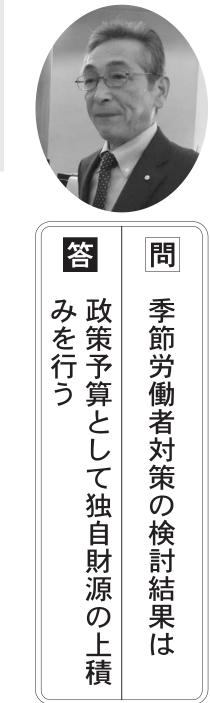


<ul> <li>特時セか開地が視域格</li> <li>現たら飛売こ</li> <li>一般一般</li> <li>一般</li> <li>一般<th>上べて多くはありません。 した</th><th>いと家ンク さねじ</th><th><b>再問</b> 現在生田原地域で ることを期待しています ることを期待していまで が り で り 上 に 特 産 品 の 着 既 が 増 や し て い く こ と に ち 慶 品 の 行 の ろ の 行 の ろ の 行 の ろ の 行 の ろ の の の の</th></li></ul>	上べて多くはありません。 した	いと家ンク さねじ	<b>再問</b> 現在生田原地域で ることを期待しています ることを期待していまで が り で り 上 に 特 産 品 の 着 既 が 増 や し て い く こ と に ち 慶 品 の 行 の ろ の 行 の ろ の 行 の ろ の 行 の ろ の の の の
ーションが必要、観光などで町	D.也或D.舌生ヒト也昜室 伺います。 るから次の2点について	多くの現代客を乎ずわせて、道の駅を整	入 備 に 合
時期に来ています。	業の振興を図るため、地	たいと考えています	y C
特産品の開発は、各地	域資源や特性を活用した		仔商品
域、各団体等で、町村合	特産品開発を行っている	の磨き上げや、新	新商品開
併前から現在に至るまで、	方を対象にした補助金制	発に対するソフト事業に	ト事業に
先人の方々の積極的な活	度を設けてはどうですか。	も気を配っていきます。	きます。
動もあり、一定の成果を	②現在の4地域の特色を	特産品開発に対する町	対する町
得られてきました。	活かした今後の特産品の	の補助金制度は、町とし	、町とし
しかしながら遠軽には、	あり方を、どのように考	ても、何らかの	何らかの形で応援
「これを買って帰りたい。	えますか。	することを検討します。	酌します。
これを食べて帰りたい。」		②現在遠軽町内には、	町内には、
というものが、他地域に	町長①地域の特産品や	たくさんの特産品が	産品があり

中で、 ます。 苦しているの の方法を考えています。 で、 ランド認証制度があるの またオホーツク管内でブ 物産カタログへの掲載、 ホームページへの掲載 商工観光課長 いきますか。 他町村の方々に宣伝して ように遠軽産のものを、 目されていくことと思 道の駅完成に向けて、 しい遠軽町の特産品が、 度化することを期待する ません。この補助金が制 ている地域も少なくあり に出し特産品開発を進め 体になって地域産を全 他町村では、 出品を促していく等 今ある特産品や新 行政として、どの が現状です。 例えば、 行政も 注 1) 面







	~ ~ みを	みを行う		丘」の看板の工夫など、
				いろいろな角度からの検
				討が必要と考えます。
<b>問</b> ①平成25年12月定例	られません。	町として、このような	があれば、今後財源の問	
会の一般質問で「季節労	したがって、通年雇用	取り組みも含めて「森林	題や規模など、また、長	町長 ①「遠軽豊里IC」
働者対策として新たな政	促進協議会で行っている	づくり」計画を新たに策	続きするのかなど考えな	の名称は地域の特性を生
策展開」を求めた事に対	大型免許や大型特殊車両	定し進めていきます。	がら、状況判断をします。	かした文言を入れる事が
し、「研究、検討する」と	免許の資格取得に対する			可能なのか現在確認中で
答弁されましたが、その	支援は、関係3町協議に	再問 ①について、下川	仮称 「遠軽豊里-	道の駅のあり方について
経過、結果について伺い	より、道費の10分の3助	町では森林資源を有効活	問 C」開通を見据え	も関係機関などと相談し
ます。	成から、政策予算として	用し、化粧品や消臭剤、	た 観 光 戦 略 は	ながら進めます。
②本町は北海道一の森林	補助率10分の2を独自財	間伐材を利用したキノコ	関係機関などと相	②車道外側線は公安委員
面積を有する事から、そ	源で上積みを行い、10分	の栽培なども行い、木質	答 談しながら進めた	会との協議も必要な事か
の資源を有効活用した産	の5の助成内容とします。	バイオマスエネルギーを	ſ	ら、確認を行っています
業の掘り起こしと合わせ、	②林業部門は、季節労働	公共施設などに供給し、		その他の提言について
季節動労者の雇用拡大に	者に特化した取り組みは	経費削減に役立てていま	問 太陽の丘えんがる公	は、観光協会、商工会議
結びつける施策の展開を	今の所考えていません。	す。本町も今後木質バイ	園虹のひろばの入園者数	所など施設の魅力向上に
図る考えはありませんか。	森林を活用した新たな地	オマス事業について研究	が減少していますが、I	向けた検討を行っており
	域活性化対策は現在、民	し、その事も含めて季節	Cを利用した観光戦略と	アイディアについては参
町長①町の予算に計上	間企業が木質バイオマス	労働者の雇用拡大につな	当面の対策について、	考意見として承ります。
している「つなぎ雇用」	の有効活用のため生田原	げる考えはありませんか。	①仮称「遠軽豊里IC」	
としての委託事業では、	地域でチップ工場建設を		のコスモス園のPRを意	
抜本的な生活の向上は図	計画しています。	町長 遠軽町に合うもの	識した名称のあり方、道	

<b>町長</b> ①「遠軽豊里IC」 で で で で した文言を入れる事が の 名称は地域の特性を生 の 名称は地域の特性を生 し な が ら、確認 を 行って います。 に つ いて に つ いて に つ いて に つ いて に つ し に つ し こ い こ つ に つ い こ つ し こ つ い こ つ し こ つ し つ こ つ し つ し こ つ し つ こ つ し つ し つ し こ つ し つ し つ し つ し つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ し ち つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ つ い つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ い こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ い こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ つ つ こ つ い こ つ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	記録ののしたなど幅広くのいのののののの方など幅広くです。
---	------------------------------



たが、

本年、

3月議会の

方は、

担として実施してきまし

再問

この間新築された メーター代と減価

合協議において、

個人負



	を伺って進めます。んや関係機関の方の考え	これから	<b>反央させています。</b>	同たい「う	いています。	どにより参画していただ	審議会による意見反映な	クコメント手続き、各種	ケートの実施やパブリッ	このほかにも、アン	いただいています。	策定の段階から関わって	の参画をいただき、計画	総合計画も町民の皆さん	き、現在策定中の第2次	町民の皆さんの考えを聞	ンターを考える会」など	これまでも、「文化セ	ています。	大変重要なことと認識し	上で町民の皆様の参画は	町長 事業を進めていく		うに考えていますか
--	----------------------	------	------------------	-------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------	-------------	-------------	-------------	--	-----------



タ

 $\sigma$ 

検討結果は

の

個

、 負 担

し

て

いる水

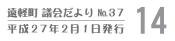


を整備すべきです。

協働の仕組みをどのよ

評価に参画できる仕組み













				_
<b>問</b> 今年6月に地域医	に対する取り組みや、介	民の関わりにより実現す	議会」における審議等を	独
療·介護総合確保推進法	護にあたる家族に対する	るものであると考えると、	通じ、本町における介護	H
が成立し、市町村が実施	ケアをどのように考えて	高齢者以外の意見も反映	保険制度及び福祉サービ	を
主体である地域支援事業	いますか。	していくため、しっかり	スで行われている生活支	総
に、在宅医療と介護の連	また、24時間定期巡	としたシステムを構築す	援サービス等も検討を行	ン
携を推進する取り組みや、	回・随時対応サービスが	べきです。	います。	5
認知症施策を推進する取	始まって既に2年が経過		また、介護に当たる家	$\mathcal{O}$
り組みなどが新たに位置	していますが、いまだ町	町長遠軽町では、要支	族に対しては、認知症サ	保
付けられました。また、	では導入されていません。	援者の認定有効期間の更	ポート講座、認知症カフ	審
要支援者に対する訪問介	今後、どのように対応す	新に合わせ、平成29年4	エの開催を行うとともに、	高
護と通所介護が市町村の	るのでしょうか。	月から順次移行すること	ケアマネージャーや支援	る
事業に移行することにな	さらに、この介護計画	で、町内関係団体の代表	センターにおいて随時相	意
りました。	の目指すところは地域包	者で構成される「遠軽町	談を受け付けています。	
遠軽町においても、今	括ケアシステムの構築で	保健医療福祉審議会」で	24時間定期巡回・随時	
年行われた日常生活圏域	あり、地域包括ケアシス	審議されました。	対応サービスは、実施を	
ニーズ調査の結果を踏ま	テムは、高齢者に限定さ	事業の実施に当たって	希望する事業者がいない	
えながら、第6期の介護	れるものではなく、障が	は、国の示すガイドライ	ことから、開設する事業	
保険事業計画を策定中と	い者や子どもを含む、地	ンはもとより、介護サー	所がありませんが、今後	
思われますが、今後の要	域の全ての住民のための	ビス事業者等との協議や	の介護報酬改定の状況を	
支援者や軽度の要介護者	仕組みであり、全ての住	「遠軽町保健医療福祉審	鑑み、後期高齢者及び認	

護を必要とする人の増加知症高齢者など医療と介 護事業所及び訪問看護事 上の方々を対象に遠軽町 定にあたっては、 の重要性を周知します。 業所と協議し、サービス に対応するため、 健医療福祉審議会」 常生活圏域ニーズ調査 自の質問項目を加えた 見を取り入れています。 とともに、様々な人の 齢者の意見を反映させ 議していただくことで、 代表からなる「遠軽町 ケート等も参照しなが 合計画にかかる住民ア 実施しています。また、 介護保険事業計画の策 地域ケア会議や住民 訪問 65 歳以 で 介